

今野 孝嶺

希望

子ども食堂の担い手育成を

質 子ども食堂は子供の大切な居場所となっている。全小学校区での実施を目指し、セミナー等により、子ども食堂の担い手を育成していく考えはないか。

答 現在、市内では3か所の子ども食堂が運営されており、子供の居場所づくりや交流の場にもなっている。市では、子ども・子育て応援団体補助金の要件を満たす子ども食堂へ助成し、支援しているが、担い手育成については、県が子どもの未来応援地域力促進事業で取り組んでいることから、現時点では、同様の取組をする必要はないものと考えている。

食品ロス削減推進計画策定の考えは

質 エネルギーのまちとして、資源やエネルギーの無駄削減の一環として、食品ロス削減にも取り組むべき。食品ロス削減推進計画の策定を検討する考えはないか。

答 ごみの減量化、資源化、循環の行動計画であるモアリサイクルプランに食べ残しを減らすための取組項目を追加し、広報のしる等で食品ロス削減の協力を呼びかけるなどの取組をしている。食品ロスの削減は持続可能な社会の実現のために重要な事項であり、国の基本方針、県の削減計画に基づき、食品ロス削減推進計画の策定について検討していく。

その他の質問事項

- 農業技術センター整備方針の検討状況は
- コミュニティ・スクールの成果と課題は
- 地域学校協働活動推進員の配置の効果は

阿部 誠

平政・公明党

林業の活性化

質 中国木材株式会社が進出やカーボンニュートラルなどの影響により、林業の可能性が見えてきた。能代の林業を産業としてこの先も残していくために、市としてどのように考えて取り組んでいるのか。

答 これまで低コストで安定的な原木の生産と流通を構築するため、林内の路網整備や担い手確保、高性能林業機械の導入、森林整備への支援を行っている。引き続き支援を継続するとともに、航空レーザ計測を活用した森林経営管理事業で所有者や境界が不明な森林の解消を図り、林業への関心を高めることで林業の活性化に取り組んでいきたい。

中心市街地の活性化

質 洋上風力関連や大手企業の進出により、今後人の流れは確実に増加する。この機会を逃さずに行動していくことが必要と考えるが、今後の中心市街地の活性化に向けた考えは。

答 商店街の振興や畠町新拠点等の運営のほか、空き店舗活用促進事業、県の動き出す商店街プロジェクト、地域おこし協力隊の配置、再開発構想策定への支援等、様々な取組を行っており、今後も官民が連携・協働し、既存店舗のブラッシュアップや新規起業者の掘り起こし、中心市街地に必要な機能の誘導等を図り、魅力向上に取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 企業の担い手の確保

安岡 明雄

希望

災害に強いまちづくりの推進

質 もしもの時を想定し、いっこへ迷わず行動する仕組みづくりが防災の基本。浸水想定エリア内のデータ分析でリスクを洗い出すとともに、ICTを活用して避難行動につなげる取組が急務ではないか。

答 浸水想定エリアの個人データ等は、避難行動を促す際の参考になり得るため、把握、分析に努め、その有効な活用方法について調査研究していく。また、ハザードマップ更新の際にはICTを活用することで、よりきめ細やかな避難情報の提供が可能と考えており、他自治体の取組事例も参考に、避難行動につなげる有効な手段を検討していく。

シティープロモーションをどう進めるか

質 史跡秋田城跡の仮想現実VRと拡張現実ARの取組（IT機器の画面に秋田城や古代の人が出現が好評である。この様な有効かつ戦略的な情報発信等で手応え、達成感が伴う取組につなげてはいかか。

答 平成28年度に移住・定住環境整備事業の取組として作成した、フリーペーパー、わのしる。でARを活用し、インタビュ動画を視聴できるようにした。今年度発行予定の市民便利帳でも、紙面で紹介しきれない情報を動画で伝える予定としており、今後可能代の魅力ある資源を発信する手法の一つとして、可能なものから取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 市民サービスを高める自治体DX推進
- 高齢者への情報格差の解消
- 給付金支払いミスと内部統制の重要性